

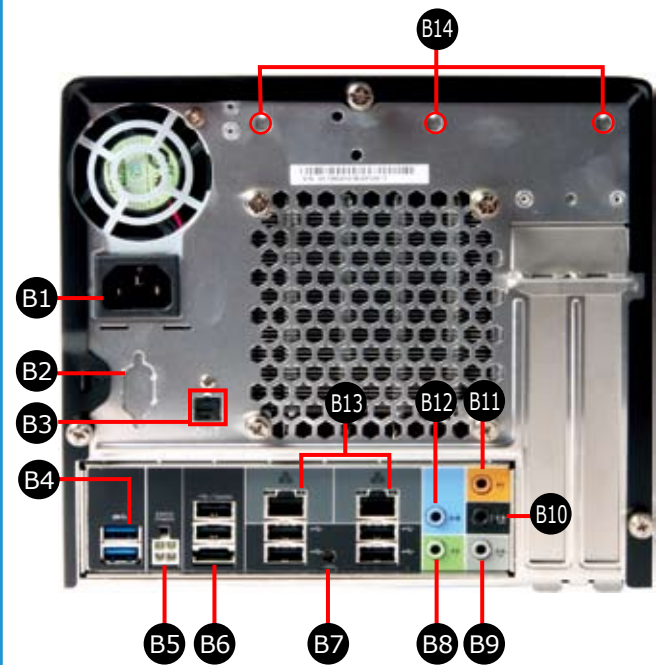
SX79R5 クイックガイド【日本語】

正面パネル



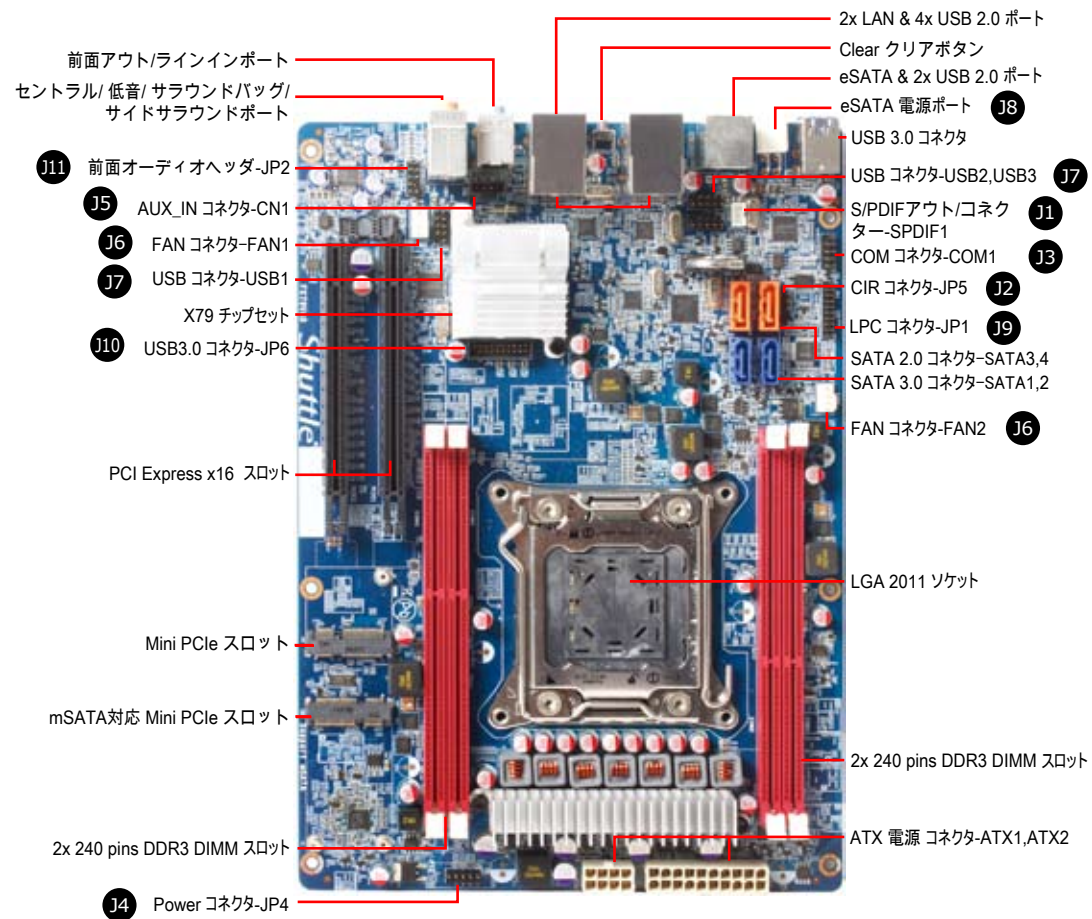
- F1. 5.25" インチベイ
- F2. 3.5" インチベイ
- F3. 取り出しボタン
- F4. 開閉ボタン
- F5. 電源スイッチ / 電源LED
- F6. HDD LED
- F7. USB3.0 ポート
- F8. USB2.0 ポート
- F9. マイク
- F10. イヤホン
- F11. USB2.0 ポート & 急速充電対応ポート

背面パネル



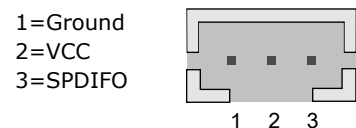
- B1. AC 電源ソケット
- B2. シリアルポート追加用 (オプション)
- B3. SPDIF アウトポート
- B4. USB3.0 ポート
- B5. eSATA 電源ポート
- B6. eSATA & USB2.0 ポート
- B7. クリア CMOS ボタン
- B8. 正面アウト(L/R) ポート
- B9. サイドサウンド(L/R) ポート
- B10. サラウンドバッグ(L/R) ポート
- B11. セントラル/低音ポート
- B12. ラインインポート
- B13. LAN & USB2.0 ポート
- B14. ワイヤレスLANキット追加用 (オプション)

メインボード図

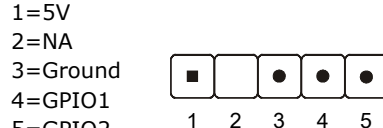


ジャンパ設定

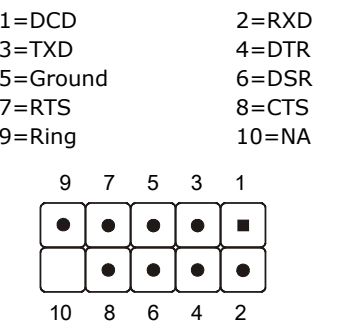
J1 S/PDIF アウトコネクタ (JP3)



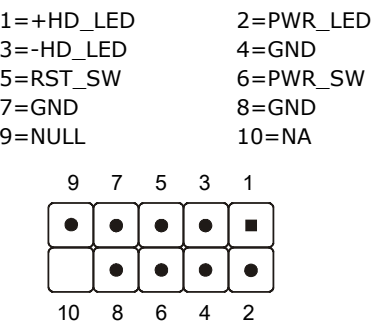
J2 CIR コネクタ (JP5)



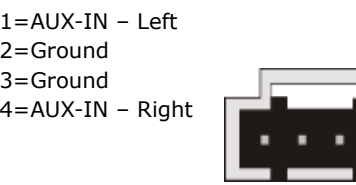
J3 COMコネクタ (COM1)



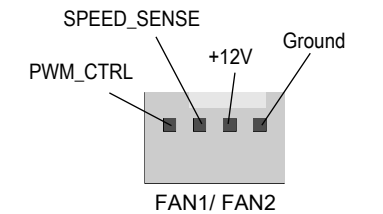
J4 Powerコネクタ (JP4)



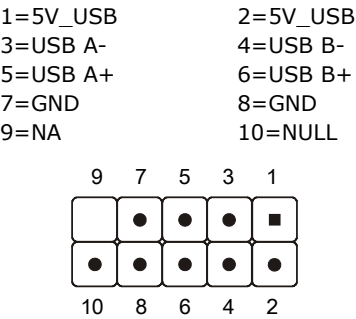
J5 AUX IN コネクタ (CN1)



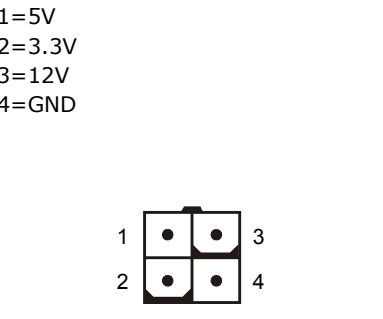
J6 CPU Fan コネクタ



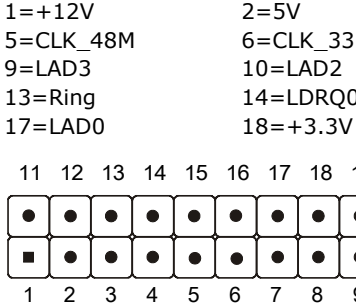
J7 USB コネクタ (USB1,USB2,USB3)



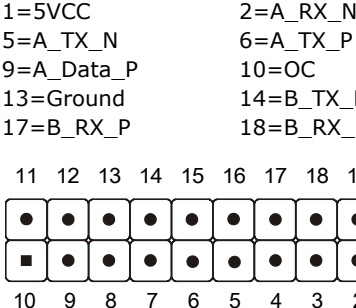
J8 eSATA 電源ポート



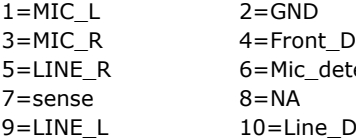
J9 LPC コネクタ (JP1)



J10 USB 3.0 コネクタ (JP6)



J11 前面オーディオヘッダ (JP2)



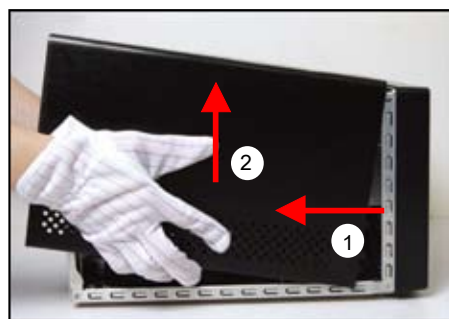
安全に関する情報

Shuttle XPC. をセットアップする前に、次の注意事項をお読みください。
注意
バッテリーを間違えてセットすると、このコンピュータが損傷の原因となります。交換する際は、Shuttleが推奨するバッテリーと同じもの、または同等のものだけを使用するようにして下さい。使用済みバッテリーは、メーカーの指示に従って処分して下さい。
レーザー準拠声明
このPCの光ディスクドライブは、レーザー製品です。ドライブの認証ラベルは、ドライブに記載があります。
クラス 1 レーザー製品
注意：開けると不視可レーザーが照射されます。光線の暴露を避けて下さい。

A. 取り付けの開始

安全のため、ケースを開ける前に電源コードを外していることを確認してください

- シャーシカバーの3本のネジを抜きます。
- カバーを後ろと上方向にスライドさせます。

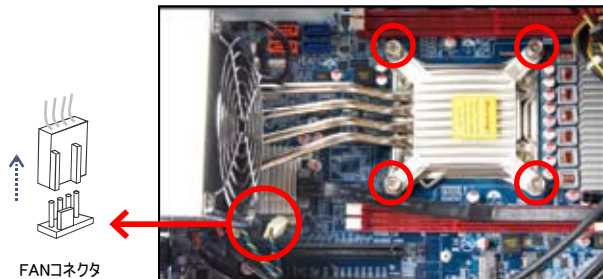


- カバーを後ろと上方向にスライドさせます。



B. CPUとICEの取り付け

- シャーシ背面のICEファンネジを外し
- FANコネクタを取り外し、ICEモジュールにあるネジを外します。

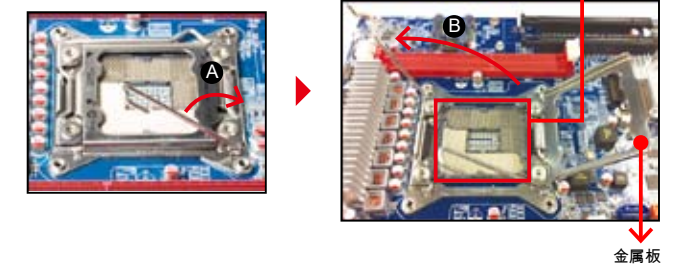


- ICEモジュールを引き上げるように引き上げるようにして取り外します

2011 ピンソケットは非常にデリケートなため、簡単に破損してしまいます。CPUを取り付ける際は、必ず細心の注意を払っていただくようお願い致します。またCPU設置の際は、必ず電源をOFFにし、ケーブルが抜けている事を。

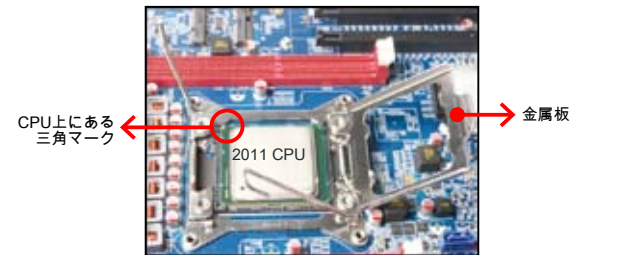
確認してから作業を行うようお願い致します。

- A,Bにあるリテンションをゆるめ、金属プレートがCPUソケットの上まで引き上げます。



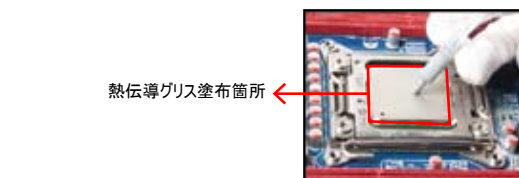
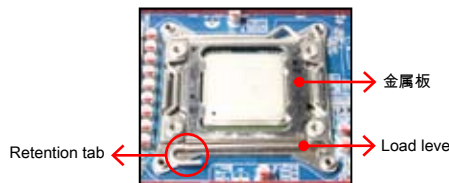
ソケット内部には絶対触らないでください。CPUを設置しない場合は、保護の為にプラスチックカバーを取り付けるようお願い致します。

- CPUとリ付けの際は、CPU側の切り込みがソケット側と合うように、取り付けの向きを確認してから、取り付けして下さい。



CPUの設置には細心の注意をお願い致します。力強く差し入れるとCPU及びソケットの損傷につながります。

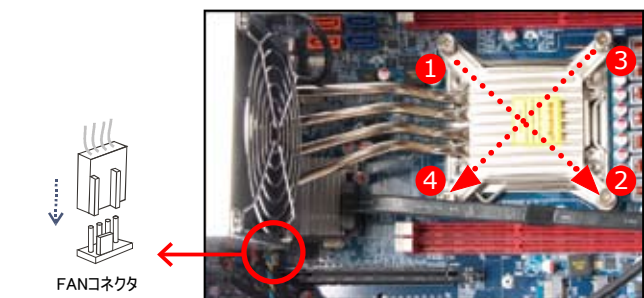
- 金属板を閉じ、レバーを下して固定します。
- CPUの表面に熱伝導グリスを塗布します。



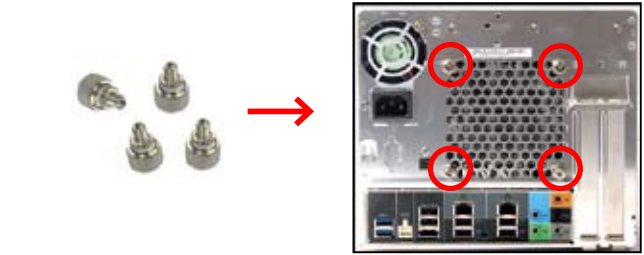
塗りすぎないように注意して下さい。

8. ICEモジュール底面にある保護シートをはがし、CPUソケットからも保護シートをはがして下さい。

- マザーボードへ差し入れたネジを締めます。それぞれ押し込むようにしながら締めるようにします。
- FANコネクタへコネクタを接続します。



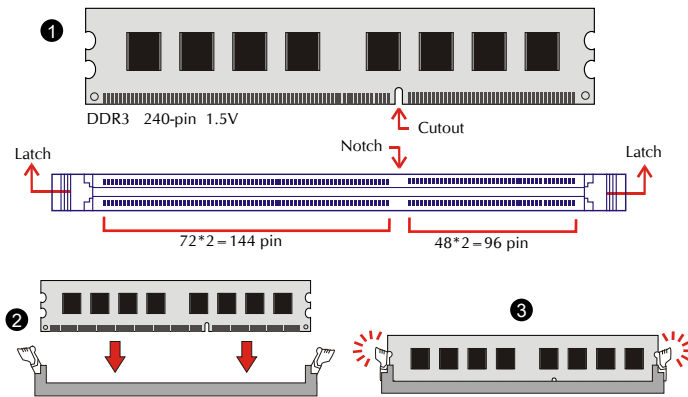
- ケース背面の4つのネジを締めます。



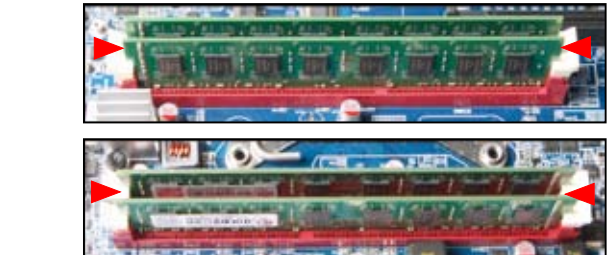
C. メモリーの取り付け

- DIMMのロックを外します。
- メモリーの切り込み位置を確認し、メモリーを押し入れます。

DDR3メモリーの向きを間違えると、押し入れる事はできません。



- 押し入れると、ロックがかかります。



メモリーを追加する際は、同作業を繰り返して下さい。

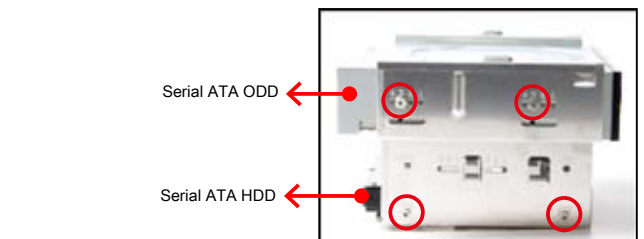
D. ミニPCIe カード取り付け方

- ミニPCIeカードをミニ PCIeスロット/mSATAスロットに取り付けて下さい、そしてそれをネジで取り付けして下さい。

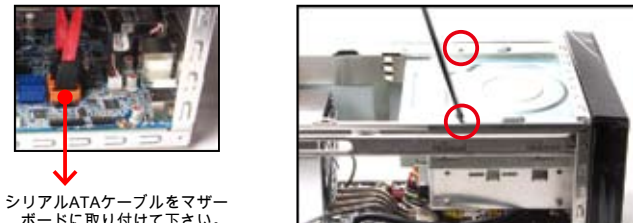


E. 周辺機器の取り付け

- 結束されているHDD電源ケーブルを取りだします。
- HDDをベイマウントに設置し、ネジを側面より締めます。

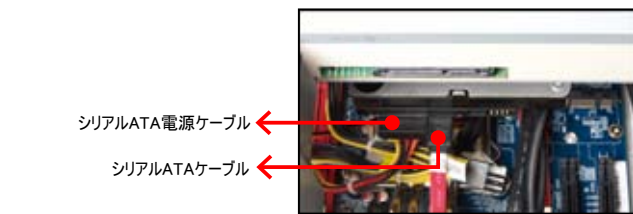


- ベイマウントを取り付け、ネジを締めます。

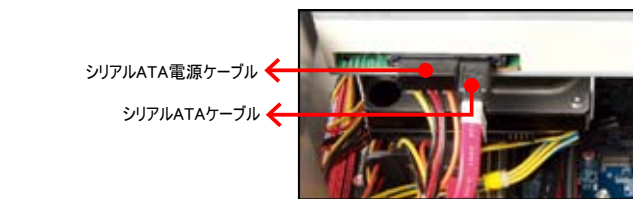


シリアルATAケーブルをマザーボードに取り付けて下さい。

- シリアルATAケーブル及び電源ケーブルを HDDへ接続します。



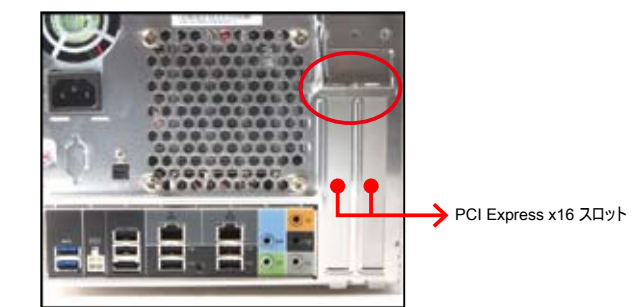
- 光学ドライブにシリアルATAケーブルと、電源ケーブルを接続します。



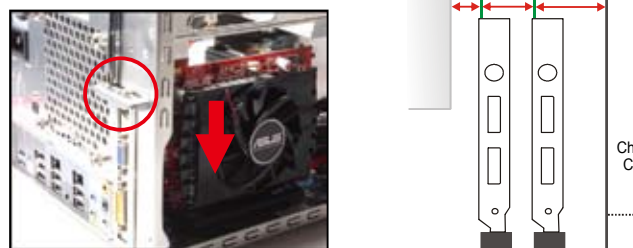
F. アクセサリの取り付け

- ブラケットのネジを外します。ブラケット上部にある蓋を上げて、ブラケットを取り外します。

搭載可能なカードサイズは、267mm x 98mm x 18mmまでです。追加したい場合は、同作業を繰り返します。

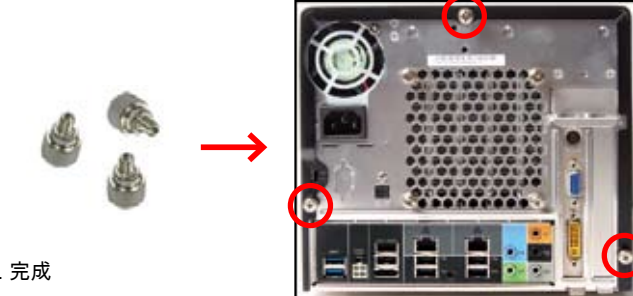


- 図にある通り、PCI Express x16ビデオカードを押し入れ、電源ケーブルを接続します。
- ブラケットを締めます。



G. 完了

- カバーを戻し、ネジを締めます。



BIOS画面より Load the optimized BIOS を設定して下さい。

H. eSATA HDD の設置

- eSATA-SATA変換ケーブルと、電源ケーブルをアクセサリ箱より取り出します。
- eSATA-SATA変換ケーブルを、eSATAポートへ接続します。電源ケーブルを電源ポートへ接続します。
- eSATA - SATAケーブルと電源ケーブルをHDDへ接続します。

